

チャボ!

通信 vol. 3



今年度、初めての活動をしました!

3月に「あかねグループ」さんの協力をいただいて、JR住宅に手紙を添えたお弁当の配達のボランティアに取り組んでから、早いもので2か月が経とうとしています。春風が心地よい4月28日(土)によいよ今年度の「チャボ」の活動がスタートしました。

今年度の活動は自己紹介から始まりました。自己紹介が進むにつれて、

「名前だけじゃなく、お互いのことをもっと知りたい」

「みんなで協力するためにももっとみんなのことを知ったほうがいい」

「まずは、お互いのことを知り、理解し合ってから活動に取り組みたい」

という話になりました。そこで、第一回目の活動は、お互いを知ることから始めました。みんなと仲良くなるために一人一人が自分の自己紹介や自分がやってみたいボランティアについて考え、発表しました。



自分の自己紹介やボランティアの考え方について一人一人が考えました。



自分で考えたことをみんなの前で発表しました。

いろいろと話をしていく中で、

「私たちがボランティアで大切にしていかなければならないことはなんだろう？」

という話になりました。この子どもたちの話し合いの結果、自分たちが大切にしていきたいのは

「笑顔とコミュニケーション」

という意見にまとまり、これが今日のチャボの活動目標になりました。

「笑顔とコミュニケーション」

を目標にして、実際に若林区文化センターの周りや区役所周辺の公園のゴミ拾いに取り組みました。



橋にくっ付いてとれない「ガム」はすごく取りにくかった・・・。



自動販売機の前にもごみもしっかり拾いました。



公園の植え込みの中も掃除しました。



区役所と文化センターの間の道路にはタバコの吸い殻がたくさんありました。

反省会では、一人一人が今日の活動の反省を発表しました。ごみの多さに驚きながらも「笑顔とコミュニケーション」という目標をほぼ達成することができたようです。

次回の活動では、いよいよ子どもたちがやってみたかった「粗のがれき処理ボランティア」に挑戦します。これからの活動に期待を抱きつつ4月の活動が終わりました。

みんな素敵な笑顔で活動をしてくれました。これからも子供達の一つ一つの想いを具体的な活動へと繋げていければと思っています。

今後ともご支援よろしくお願ひします。

「チャボ」への登録は随時行っています。やってみたいなぁ~と思う人は

若林区中央市民センターTEL022-282-1173 担当 丹尾 和典までご連絡下さい。

チャイルドボランティアセンター チャボ!

通信 vol. 4



がれき処理のボランティアをしました!

チャボは5月19日に「がれき処理」のボランティアをしました。心配された天候も回復し、14名の参加者一人一人が様々な期待を持って活動に取り組みました。

まずはじめに、七郷中学校近くにあるボランティアハウス「リルーツ」に行って受付後、作業の説明を受けました。当日は土曜日ということもあり、ボランティアの方も多く、4台のバスでいらしゃった団体もいたことに子どもたちは驚いたようでした。説明の中で、自分たちが六郷の二木地区の畑を担当するということが分かり、子どもたちの胸も高鳴りました。

次に現場に行き、いよいよ「がれき処理」です。同じ畑を大型バス1台でいらしゃった大人の方と共同で作業することになりました。チャボの担当はがれきひろいです。大人がスコップを使って掘り起こしたがれきを拾い集める作業に取り組みました。一見、何もなさそうな土の中に「プラスチック」「ビニール」「瀬戸物」「洗濯バサミ」「クッション」「まつぼっくり」「大きな木切れ」などたくさんのがれきがあり、子どもたちも驚いていました。何回かの休憩をはさみ、子どもたちは黙々と作業を続けました。その姿を見たリルーツの担当者の方から「すごいね!ありがとう!」と言われ、子どもたちもとてもうれしそうにしていました。

午前中の活動の終わりに合わせ、子どもたちの活動も終了になりました。若林区中央市民センターに戻り、みんなで今日の活動のまとめをして、5月の活動は終わりました。6月の活動は5月の反省と7月の活動についての話し合いをする予定です。新しい仲間を加えて小中学生総勢19名でがんばります!これからも応援よろしくお願いします!





リルーツで説明を聞きました。



ボランティアの「がれき拾い」をしました。



晴れて暑い日だったので、休憩はしっかりとりました。



がれきがこんなにあるなんて・・・と驚いていました。



今回の活動に参加したチャボ14名で記念写真を撮りました。



若林区中央市民センターにもどって、今日の活動の振り返りをしました。

活動の感想をいくつか紹介します。

- 今日の活動をやってみて、みんなの役に立つためにはどんなことをすればよいかわかりました。(4年生)
- とてもいい経験になりました。わからないことはたくさんあるけど、これからもがんばりたいです。(4年生)
- 思ったより大変だったけど、すごく楽しかったです。お友達もいっぱいできてよかったです。(5年生)
- 今回はいっぱいがれきを片付けて人の役に立って、楽しくできました。また、やってみたいです。(6年生)
- 今回の活動はスムーズにできてよかったし、人の役に立ててよかった。またやってみたいと思った。(中2)

「チャボ」への登録は随時行っています。やってみたいなあ~と思う人は

若林区中央市民センターTEL022-282-1173 担当 丹尾 和典までご連絡ください。

チャボ!

通信 vol. 5



児童館でのボランティアについて考えました!

今月は7月に予定されている「児童館でのボランティア」について考える活動をしました。

まずはじめに、みんなで先月の活動のことについて話し合いをしました。家に帰って家族から「すごいね」「えらいね」と言われてうれしかったと話したり、また「がれき処理に行ってみたい」と話したい子どもが多く、身近な人から認められたことが意欲につながっていることが感じられました。その後、7月の活動に生かすために見学をしに児童館へ向かいました。

児童館では、熊谷館長からお話を聞きました。児童館について分かりやすい説明を受けた後、自分たちで児童館を見学しました。児童館はどんな建物で、どんな遊具があって、それを使ってどんな遊びができるのか、ということについて見学したい体験したいする中で考えました。

その後で同じ建物の中で行われていた「ポッチャ」というニュースポーツを体験しました。ポッチャはパラリンピックの正式競技でカーリングに似たような競技です。体験した子どもたちは「楽しかったけど難しい」「すごく楽しかった」という声が多く聞かれました。子どもたちの参加はポッチャクラブの人たちにもとても喜んでいただきました。

最後に児童館の先生方にあいさつをして中央市民センターに帰ってきました。児童館に行って気付いたことや感想を発表し合い、いろいろな課題が見つかりました。「子どもたちと遊ぼうとしてもなかなか難しい」という課題については「小さな子どもたちの遊びをやめさせて新しい遊びをするのではなく、もともとやっている遊びに入れてもらう方がいい」という具体的な解決策の提案もできました。今日の活動を生かして、ぜひ、来月の活動も充実したものにできるよう、支援していきたいと思います。





児童館での活動について話し合いをしました。



みんなで児童館に向かいました。



児童館にあるもので、どんな遊びができるか考えました。自分たちで考え、工夫したことを7月の活動に生かしましょう！

活動の感想をいくつか紹介します。

- 7月の活動では児童館のみんなと仲良くなりたいです。ポッチャもとても楽しかったです。(4年生)
- 今回は児童館の見学ができてとてもうれしかったです。7月の活動では児童館のみんなと楽しく遊びたいです。(4年生)
- 中央児童館には土曜日だったのであまり子どもがいなかったけど、おもちゃとかいろいろなものあって、来月も楽しく活動することができそうです。(5年生)
- 今日の話合いや体験したことを生かして、次の活動では折り紙や卓球大会、ぬり絵大会をやりたい。(6年生)
- 今回の活動は思ったより大変だった。次はいろいろな話をして小さい子たちとの距離を縮めたいと思った。(中2)

「チャボ」への登録は随時行っています。やってみたいなあ~と思う人は

若林区中央市民センターTEL022-282-1173 担当 丹尾 和典までご連絡ください。



「チャボ」とは若林区中央市民センターで活動しているボランティア団体です。

今年度は小中学生19名が登録して活動しています。

児童館でボランティア活動をしました(その1)

今回は先月考えた「児童館でのボランティア活動」にちょう戦です。

かんたんにできて、みんなが仲良くなれるゲームをチャボの長岡美涼さんがてい案してくれました。実際に、大和小学校でやっているゲームだそうです。その名も「サイン集めゲーム」。楽しいゲームなのですが、チャボのみんなが子どもたちに説明できるようにゲームの進め方を勉強しました。

ゲームは①全員が紙とえんぴつを持つ②2人でペアになってじゃんけんする③負けた方が相手の紙に自分の名前を書く④さい後に紙に書いてある名前の多い人が優勝!というように進みます。自分たちがやりかたは理解しつつも、

それを説明しながら進めるのはひと苦労です。ゲームの説明の仕方を考え、見本を見せた方がよいということに気が付き、役割分担をしてデモンストレーションしながら説明をしました。そのために、何回もやりなおしては練習し、

時間はあっという間に過ぎました。

児童館の子どもたちといよいよ遊ぶ時間がやってきました。学校が夏休みに入ったので、若林区中央児童館は低学年の子どもたちでいっぱいです。説明もみんなで協力して上手にできました。ゲームも盛り上がり、子どもたち一人一人の笑顔がとても印象的でした。相手のいない子をさがしてジャンケンをしたり、児童館の子どもたちに合わせてゆっくりとゲームを進めたりするチャボのすがたからは「思いやりの気持ち」が感じられてとてもうれしい気持ちになりました。

児童館の館長さんや先生方からも感謝されて、チャボのみんなもうれしそうにしていました。来週の活動も大成功に終われるようにがんばりましょう!





ゲームを説明する練習を何回もしました。



あいさつをした後で、ゲームの説明をしました



本気でじゃんけんをしました！



相手が名前を書き終わるまでやさしくみまもってあげました。



みんなとても喜んでくれました！



反省会では館長さんのお話を聞きました。

活動の感想をいくつか紹介します。

- サイン集めゲームはとても楽しかったです。その後で、サッカーをして子どもたちと遊べました。(4年生)
- サイン集めゲームを小さい子としてとてもなかよくなれました。その後でフラフラ遊びのコツを小さい子に教えてあげました。31日がとても楽しみです。(4年生)
- 最初のサイン集めゲームから友達ができてとても楽しかったです。また、31日もあるのもっとたくさん友達を作りたいです。(5年生)
- みんなでふれあってくれてよかったです。児童館の子どもたちがすごくはしゃいでくれたので、自分もうれしくなりました。31日も楽しんで活動したいです。(6年生)
- サイン集めゲームのおかげでみんなと楽しく遊べた。児童館の子どもたちと親しくなれてよかったけど、もっと長く遊べるようなゲームを知りたい。(中2)

「チャボ」への登録は随時行っています。やってみたいなあ~と思う人は

若林区中央市民センターTEL022-282-1173 担当 丹尾 和典までご連絡ください。



チャイルドボランティアセンター

チャボ!

通信 vol. 7

「チャボ」とは若林区中央市民センターで活動しているボランティア団体です。

今年度は小中学生19名が登録して活動しています。

児童館でボランティア活動をしました! (その2)

今回は2回目の「児童館でのボランティア活動」にちょう戦です。

前回の活動の後「もっと長い時間子どもたちと遊びたい」という反省が出ました。そこで、今回は前回の「サイン集めゲーム」に「しずかなるゲーム」と「にたもの同士」の2つのゲームを加えて遊びを進めることにしました。

今回の活動に参加したのは小学生6人です。前回の活動までは中学生がリーダーをしてくれていたのですが、みんなドキドキな中で活動を進めることになりました。児童館に行ってあいさつをした後、一人一人がきん張しながらゲームの進め方のリハーサルをしました。児童館の子どもたちにうまく説明できるかどうか・・・不安でした。

不安を抱えながら、ゲームが始まりました。説明もみんなで協力して上手にできました。最初の「静かなるゲーム」

も自分たちで見本を見せながら説明してみんなで楽しくできました。その次に「サイン集めゲーム」をしました。このゲームはみんなやったことがあるので、前回以上に盛り上がりました。最後に「似たもの同士」というゲームをしました。このゲームはみんな初めてだったので、チャボが見本を見せながらゆっくりとやりかたを説明しました。子どもたちの中にはやったことがある子もいて、おたがいに教え合いながらゲームを楽しみました。3つのゲームをして時間を見たら、1時間以上たっていました。前回は30分だったので、かなり長い時間児童館の子どもたちとゲームで遊べたことになります。がんばりましたね! チャボのみんな!

今回のチャボ活動は小学生6人だけということもあり、不安だらけでしたが、終わってみれば素晴らしい活動になりました。ここでつけた自信をこれからの活動に生かしていきましょう。

(↓帰りにとった自信まんまんの写真です)





小学生6人であいさつをしました！



サイン集めゲームです。小さい子との接し方もなれてきました！



小さい子と目線を同じ高さにして遊ぶことができました。



チャボの手をたたく回数やリズムに合わせて手をたたく「しずかなるゲーム」をしました。



最後は「にたもの同士」をしました。



最後に館長さんからもおほめの言葉をいただきました！

活動の感想をいくつか紹介します。

- 静かなるゲームでみんなが手たたきをしてくれておもしろかった。また、やってみたいです。(4年生)
- 今日のチャボは6人しかいなかったのに、すごく楽しめました。次のチャボもファイトでがんばります。(4年生)
- 初めて中心になってゲームをしました。静かなるゲームではみんな迷ってくれておもしろかったです(4年生)
- すごく楽しかった。また、サイン集めゲームをしたいと思います(5年生)
- 今日はこの前より友達ができてよかったです。初めてのリーダーで不安だったけど、終わって自信ができました(5年生)
- 自分のことを覚えていてくれる子どもが多くてうれしかった。次来る時も楽しく遊ぼうと思います。(6年生)

「チャボ」への登録は随時行っています。やってみたいなあ~と思う人は

若林区中央市民センター TEL022-282-1173 担当 丹尾 和典までご連絡ください。

若林区子ども参画型社会創造支援事業 2012.8.11

チャイルドボランティアセンター

チャボ!

通信 vol. 8



「チャボ」とは若林区中央市民センターで活動しているボランティア団体です。

今年度は小中学生19名が登録して活動しています。

えだ豆のしゅうかくボランティアをしました!

若林区中央市民センターしき地内にある「仙白園(せんぱくえん)」からチャボに出動ようせいがありました。今回チャボがお手伝いする仕事は「枝豆しゅうかく」です。今回の活動はチャボ8名が出動して行いました。

若林区中央市民センターしき地内で「仙白園(せんぱくえん)」のみなさんが枝豆を育てています。子どもたちはまず畑に植えられている「枝豆」を見ておどろいていました。くきがあって、葉っぱがあって、そこになっている「枝豆」はふだん見ている「枝豆」とはちがっていたからです。収かくの方法を教えてください、いよいよ畑から収かくです。根がしっかりとしているので、引っぱっても引っぱってもなかなかぬけません。苦労しながらぬいたら、次の作業が待っています。次の作業は枝豆をくきから「もぐ」作業です。もぎ忘れのないように、この作業は前の作業よりもていねいに取り組みました。

もぎ終わってから場所を調理室に移動して、「枝豆」の調理のお手伝いにとりかかりました。明成高校(めいせいこうこう)の先生と生徒のみなさんに教えてもらいながら「ずんだおはぎ」を作ります。最初の作業は「枝豆のうすかわむき」です。豆をもぐさぎょうもていねいに取り組みましたが、このさぎょうはもっとていねいに取り組まなくてはなりません。ゆでた枝豆を「さや」から出して、豆のうすいかわをむくのはとてもむずかしくて、「仙白園」のみなさん、明成高校のみなさんと協力しながら作業を進めていきました。次の作業は「ずんだ」作りと「もちつき」です。ずんだ作りはかわをむいた枝豆をすりこぎに入れてすります。そのやりかたにもコツがあって、そのコツを教えてくださいながら取り組みました。もちも協力しながらつくことができました。そのもちを食べやすい大きさに分け、ずんだをのせて「ずんだおはぎ」の出来上がりです。

収かく、調理もお手伝いして、「ずんだおはぎ」をみんなでおいしくいただくことができました。今回よう請していただいた「仙白園」の皆さんや明成高校のみなさんから感謝されつつ、今回の活動は終わりました。





くろうしながら、枝豆を収かきました！



くきから枝豆を切りはなす作業をしました。



ゆでた枝豆のうすかわむきをしました。けっこう時間がかかりました・・・。



おはぎのもちを作りました。手で形を作る時にごはんが熱かった・・・。



協力して「ずんだ」を作りました。



出来上がった「おはぎ」をみんなでおいしくいただきました！

活動の感想をいくつか紹介します。

- 今日は枝豆の収かくとずんだおはぎ作りをしました。もち米はとても熱くてつぶすのは大変でした。(4年生)
- 今日は枝豆の収かくをしたり、おはぎを作ったりしました。今までやったボランティアとはちがったけど面白かったです(6年生)
- 収かした枝豆を葉などとていねいに分けて取ることができなかったので、今度は気を付けたいです(6年生)
- とても貴重な体験でした。自分で作ったものを大ぜいの人たちに食べてもらう機会もないので、とてもいい勉強になりました。枝豆の収かくも初めてでした。(6年生)
- 初めて枝豆を収かくすることができたことは、自分にとって、とてもよい経験となりました。(中2)
- 枝豆の収かくはとても大変でした。自分たちにもお手伝いできることが分かったので、今回、植えていた白菜の収穫などでまた、畑の仕事のお手伝いをしてみたいと思います。(中2)

「チャボ」への登録は随時行っています。やってみたいなあ~と思う人は

若林区中央市民センターTEL022-282-1173 担当 ^{たん}丹尾 ^お和典までご連絡ください。

若林区子ども参画型社会創造支援事業 2012.8.25

チャイルドボランティアセンター

チャボ!

通信 vol. 9



「チャボ」とは若林区中央市民センターで活動しているボランティア団体です。

今年度は小中学生19名が登録して活動しています。

チャボに出動ようせいがありました!

若林文化センターから「コスモスの植えかえ」のようせいをうけて、8月25日(土)にボランティア活動をしました。ようせいを受けて活動するのはこれで2回目です。

まず、はじめにコスモスのなえを畑からほりおこす作業をしました。よい天気が続いたため、土がかわいてかたくなり、なかなかほりおこすことができませんでした。そこで、根をきずつけないように、土に水をかけてやわらかくしながらゆっくりとほりおこしました。思った以上に時間がかかり、チャボもおどろいたようでした。

次に、植えかえをする場所にいどうしました。植えかえ場所は文化センター正面げんかん側の花だんです。こちらのほうもよい天気のおかげで、土がかなりかたくなっており、なかなかほれません。畑をたがやすのはむずかしいので、水をまいて土をやわらかくしながら、コスモスが植えられるようなあなをほっていきました。くわを使ったり、スコップを使ったりしながら、なんとかコスモスを植えられるだけのあなをほることができました。

最後にコスモスの苗を植えました。植えてから土をかけてみると、土が足りないことに気が付き、まわりの花だんから土をもってきました。なんとかたおれないようにコスモスを植えて、今日の作業は終わりです。若林文化センターのみなさんからも感謝の言葉をいただき、チャボも満足そうにしていました。はじめは「かんたんだ」と思っていたけど、大変な作業でした。あつい中、よくがんばったね!



コスモスの植えかえを終えて、花だんの前で写真を撮りました! よくがんばりましたね!



コスモスの苗をほり起こすのは大変でした。



コスモスの苗をきれいにぬきました。



じょうろ、スコップ、くわなどの道具を持ってコスモスの植えかえ場所へいどう開始！



この花だんをたがやして、コスモスを植えます！大変そうだ！



土がかたく大変だったけど、なんとかたがやすことができました。



たがやした後、いよいよコスモスを植えました。きれいな花がさくといいな！

活動の感想をいくつか紹介します。

- あつくて大変だったけど、たのまれた仕事をちゃんとできたのでうれしかったです(4年生)
- 今日は初めての「ようせい」をうけたチャボでした。やってみて、ほくたちの力は必要とされているのだと実感しました。これからもいろいろな活動をしていきたいです。(6年生)
- コスモスの植えかえを通して自分たちの力が必要とされているということがわかり、うれしかったです。(中2)
- とちゅうからの参加でしたが、コスモスを植えた花だんが通学路なので、早く花がさいてほしいです。初めてのようせいでボランティアをやりとげることができて、うれしかったです。(中2)

「チャボ」への登録は随時行っています。やってみたいなあ~と思う人は

若林区中央市民センターTEL022-282-1173 担当 ^{たん お}丹尾 和典までご連絡ください。

チャイルドボランティアセンター チャボ!



通信 vol. 10

「チャボ」とは若林区中央市民センターで活動しているボランティア団体です。

今年度は小中学生19名が登録して活動しています。

お弁当にそえる手紙を書きました!

チャボの第1回目の活動は「あかねグループ」さんのお弁当配達とお弁当にそえるお手紙書きでした。早いもので、それから半年がたち、また、あかねグループさんからボランティアの要せいをいただきました。今回の要せいは「お弁当にそえるお手紙書き」です。

今回の活動に参加した「チャボ」は7人。3月の活動では1通の手紙に色をぬったり、イラストをかいたりしてきれいに仕上げ、お弁当に入れました。でも今回の活動はちょっとちがって「色ぬりなしで、お弁当を食べる人がうれくなるような手紙を書いてほしい」ということ。前の活動でやったことのあるチャボも「うれくなるような手紙」はどう書けばいいのだろう……。と、ちょっととまどってしまいました。

最初はなやんでいたチャボも書いているうちにだんだんなれてきて、俳句（はいく）を入れたり、ちょっとしたイラストを書いたりというような工夫をするようになりました。みんなが書いたものをみたり、読んだりしていく中でどんどん気持ちの伝わる手紙が出来上がっていきました。みんなで一生けんめい取り組んで、全員で30通以上の手紙を書くことができました。

少し休けいをして、一人一人自分で書いた手紙をとどけるために「あかねグループ」にむけて出発しました。若林区中央市民センターからは歩くのだいたい20分くらいかかります。

あかねグループにとう着し、職員の方に一人ずつ手紙を渡ししました。それを詠んだ職員の方にもとても喜んでいただき、「ありがとう。とても気持ちのこもった手紙ですね。またよろしくお願いします」との言葉をいただきました。よろんでもらえた上に、次の要せいもいただいたことで、自分たちの活動に自信をもった1日になりました。





最初はなかなか手紙を書きだすことができませんでした。



頭をかきかき「どうすればよろこんでもらえるのか」考えました。



俳句を考えたり文章を工夫したりしながら、手紙を書きました。



自分たちの経験を生かしながらイラストを工夫して手紙を書きました。



一人一人が自分が書いた手紙を持ってあかねグループに出発！



仙台市中央市民センターの高橋さんといっしょにあかねグループにむかいました。

活動の感想をいくつか紹介します。

- 手紙を書くのはむずかしかったけど、手紙をとどけてたときによろこんでうれしかった。(4年生)
- 手紙を6通書くのは大変でした。でも、書いているうちに楽しくなってきました。(5年生)
- 手紙を書けてよかったです。今度はお弁当もとどけたいです。手紙を読んでもくれた人が喜んでくれるといいな。(6年生)
- 最初はなかなか書けなくてこまったけど、なんとか書けてよかったです。気持ちがとどいてくれるとうれしいです(6年生)
- 一生けんめい書いた手紙を読んでもくれたらうれしいと思いました。またお願いされたので、次もがんばります(中2)

「チャボ」への登録は随時行っています。やってみたいなあ~と思う人は

若林区中央市民センター-TEL022-282-1173 担当 丹尾 和典たんおまでご連絡ください。



チャイルドボランティアセンター

チャボ!

通信 vol. 11

「チャボ」とは若林区中央市民センターで活動しているボランティア団体です。

今年度は小中学生19名が登録して活動しています。

お弁当にそえる手紙を書きました! ②

今回のチャボ活動には12人が参加しました。こんなに大ぜいのチャボがそろったのは久しぶりです。当日の活動は前回に引き続き、「お弁当にそえるお手紙書き」と「コスモスのかんさつと手入れ」をしました。

はじめにお手紙書きをしました。前にやったことのある人がはじめての人に教えながら書いたので、はじめは時間がかかりました。でも、なれてくると時間もかからなくなり、みんなたくさんの手紙を書くことができました。

次に「コスモスのかんさつと手入れ」をして活動は終わりました。その時にとったしゃしんが下のしゃしんです。みんなとても元気ですね! せっかくなので、チャボのみんなが書いた手紙をいくつかしょうかいします。

こんにちは。わたしはあみものが大好きです。ぼうあみは表あみとうらあみをおぼえました。はりでぬうときはゆびにささっていたいけど、大好きです。もっともっと上手になりたいです。このあかね弁当をおいしく食べてくださいね!

こんにちは。お元気ですか。わたしは元気です。わたしが今がんばっていることは「てつぼう」です。みなさんもあかね弁当を食べて元気な生活を送ってください。「ありがとう そのひとことが やさしいよ」

こんにちは。なんだか季節を感じますね。あつかった夏もおわり、さむい夜がつづきます。ぼくもかぜをひきそうになりました。あかね弁当を食べてかぜをひかない元気な生活をおくってください。

その後、この手紙をうけとった方からお返事をいただきました。そのことについては、うらを見てね!





ある日の夕方、あかねグループのたけださんが若林区中央市民センターにいらっしゃいました。お話をきくと

「チャイルドボランティアの人たちが書いてくれた手紙があまりにもすばらしいのでおれいにきました。」

とおほめの言葉をいただきました。さらに

「チャイルドボランティアのみんなが書いてくれた手紙に返事がこんなにきましたよ。お手紙をいただいた人はすごくうれしかったんだと思います。ほんとうにありがとうございました。」

とのことでした。チャボのみんな！がんばったね！これからもボランティアに進んで取り組みましょう！

チャイルドボランティアのみんなにいただいた手紙の返事をいくつかしようかいたします。

昨日に続いて今日のおたよりも小学生の方が書いてくださいました。ありがとうございます。

「秋の朝 ごはんを食べて もみじがり」

という俳句を読ませていただき、これからの季節がほんとうに楽しみになりました。急にすずしくなってさびしい感じでしたが、手紙のおかげでわくわく楽しい気分になりました。あかねさんのお弁当を食べて元気にでかけようと思います。本当にありがとうございました。

お手紙ありがとうございます。暑さもおさまり、おかげさまでおいしいお弁当をいただいてとても元気になりました。きれいな夕日、夕焼けなどにも目をとめ、わたしもいろいろなことをがんばっていこうと思います。これからもよろしくね！

毎日のおたよりもとても勉強になります。そして、とても楽しみにしています。弁当と手紙どっちが楽しみなのか。

わたしはどちらも比べられないくらい楽しみにしています。

このたびは小学生のみなさんが手紙を書いてくださり、とても励まされております。心より感謝申し上げます。できるなら、あかねグループさんを通して小学生のみなさんとお会いできればと思います。子どもたちは未来の宝ですから、小学生のみなさん。これからもいろいろなことをがんばってください。

自分たちの書いた手紙がこんなによろこんでいただけるなんて、本当にうれしいね！これからも心をこめて手紙を書きましょう！

今回の活動の感想をいくつか紹介します。

- 今回の活動でわたしは初めて手紙を書きました。むずかしくてなやんだけど、書いてよかったです。今度はおとしよりのお手伝いをしてみたいです(4年生)
- ほくは手紙をそんなに書けなかったけど、楽しかったです。次は参加できないけど、みんながんばってください。(4年生)
- はじめは何を書いているのか分からなかったけど、だんだんわかってきて、書くのが楽しくなりました。私の書いた手紙を読んでくれた人が元気になったり、お手紙が読んだ人を勇気づけられたりしたらとてもうれしいです。(5年生)
- 今回は前回よりも手紙を書くのが大変でした。だから、3まいしか書けませんでした。でも、工夫して俳句を入れたり、イラストを書いたりできたのでよかったです。(5年生)
- 今日は手紙を書きました。2枚しか書けなかったけど、心をこめて書けたのでよかったです。(6年生)
- 前回とおなじように手紙を書きました。私の手紙で元気になった人がいたらとてもうれしいです。(6年生)

このおたよりを読んでるみなさんも「チャボ」に参加してみませんか？

チャボへの登録はいつでも行っています。やってみたいなあ~と思う人は

若林区中央市民センター-TEL022-282-1173 担当 丹尾 和典までご連絡ください。

若林区子ども参画型社会創造支援事業 2012.10.10



チャイルドボランティアセンター

チャボ!

通信 vol. 12

「チャボ」とは若林区中央市民センターで活動しているボランティア団体です。

今年度は小中学生20名が登録して活動しています。

ワカチュウ子どもランドに出動しました!

10月7日(日)にワカチュウ子どもランドに出動しました。今回は、更生保護女性会(こうせいほごじょせいかい)さんの工作とわたあめ配りのお手伝いです。

この日はさいしょに「未知の国の守ダッチャーショー」のお手伝いをしました。ダッチャーをみるために小さい子が多く来てくれたので、その子たちのお世話やショーの盛り上げ役をしました。

つぎに更生保護女性会さんの会場に行ってあいさつをしました。みなさんにあたたかくむかえていただいて、チャボのみんなもうれしそうでした。そのあとすぐにおきゃくさんに作り方を教えたりお手伝いをしたりできるように「工作の練習」をしました。はじめはみんなうまくできなかったのですが、すぐに上手にできるようになりました。

つぎに「工作たんとう」「わたあめたんとう」の2つのグループに分かれて活動しました。わたあめたんとうの仕事は列をきれいにしたり、「ちゃんとならんでください」とか「わたあめいかがですか」という声がけをしたりしました。また、わたあめの機械(きかい)を休ませているときには「火おこし体験」のお手伝いもしました。「工作たんとう」はいろいろなコーナーに分かれて活動しました。おきゃくさんに作り方をやさしく教えたり、作り方のお手伝いしたりしてチャボのみんなは大かつやくでした。

さいごに更生保護女性会のみなさんにあいさつをしました。その時にみなさんから「ありがとう」「また、お願いします」とうれしい言葉をかけていただいてチャボのみんなもうれしそうにしていました。今回、新しい仲間がふえて、

チャボは20名になりました。これを読んでいるみなさんもいっしょに活動してみませんか?





今日のボランティアについて更生保護女性会の方から説明していただきました。



わたあめ配りのお手伝いをしました。大人気でした！



工作の作り方を教えてあげました。教え方もていねいでしたよ！



作り方を教えてあげるために、まず、自分たちで作り方を練習しました。



先日書いた手紙をあかねグループの武田さんにお渡ししました。



新しく入った仲間と自己しょうかいをしました。早く仲よくなれるといいね！

活動の感想をいくつか紹介します。

- 工作を小さい子に教えるのが楽しかったです。わたあめコーナーで声を出すのがむずかしかったです。(4年生)
- 工作を作るのも教えるのも楽しかったので、また、やってみたいと思いました。(4年生)
- ものづくりやフラ板づくりが楽しかったです。わたあめくぼりは声をだすのが大変でした。(4年生)
- 火おこしがむずかしかったけど、わたあめくぼりやものづくりのお手伝いが楽しかったです(5年生)
- ものづくりが楽しかったです。最後は自分が教えるがわになりました。上手に教えられてうれしかったです(6年生)
- 今日はボランティアというより、「自分でやる」という感じでした。ものづくりは説明しながらみんなと楽しめたのでよかったです(6年生)

「チャボ」への登録は随時行っています。やってみたいなあ~と思う人は

若林区中央市民センター TEL022-282-1173 担当 ^{たんお}丹尾 和典までご連絡ください。